

オリトシールド

色 グレー (日本塗料工業会 色見本 N-70 相当)

荷姿

	荷姿	主剤	硬化剤
オリトシールド	13.2 kg セット	12 kg (約 15 L)	1.2 kg

オリトシールド推奨ローラー

- ・好川産業株式会社
厚塗りATUKO
- ・大塚刷毛製造株式会社
ピーチ
- ・株式会社タイホウ
太陽

※毛丈18mm以上のローラーが最適です。
マイクロファイバーは不向きです。



注意事項

- ①火気厳禁—引火性です。
- ②有害性があります。取り扱いの前に、製品ラベルの注意事項および、安全データシート(SDS)をお読みください。
- ③朝夕の結露の時期、被塗物が異常に高温の時、降雪雨が予想される時は、塗装を避けてください。
- ④2液反応型塗料のため、主剤、硬化剤共に開栓後はなるべく早く使い切ってください。
- ⑤可使時間は20℃雰囲気化で約5時間です。適量を調合し、可使時間内に使い切ってください。
- ⑥高温多湿の環境下では、保存期間や、可使時間が短くなります。
- ⑦使用前に塗料が均一になるまで攪拌してください。
- ⑧主剤と硬化剤は、計量混合後に、直ちに均一になるまで攪拌してください。
- ⑨有機溶剤を含みます。蒸気を吸わないようにしてください。
- ⑩屋外、または換気の良い場所でご使用ください。
- ⑪使用の際は、保護具(マスク、手袋、保護メガネ、保護衣など)を着用してください。
- ⑫使用後は手洗い、うがいを行ってください。
- ⑬密閉して冷暗所で保管してください。
- ⑭廃棄は、環境に配慮し産廃処理業者に委託してください。
- ⑮基材に割れやヒビがある場合は、塗り替えでは補修できません。
- ⑯塗装には適切な下地処理が必要です。洗浄が不足すると剥離する場合があります。

® オリエンタル塗料工業株式会社

本社・工場

住所 大阪市平野区加美北4丁目5番38号

電話 06-6791-4031 FAX 06-6791-4034

福岡営業所

住所 福岡市早良区飯倉3丁目29-8

電話 092-831-2281

東日本営業所

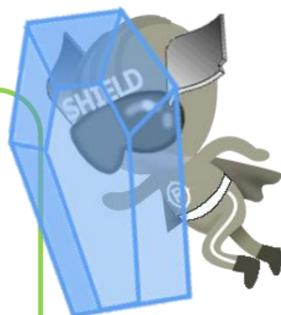
住所 埼玉県越谷市三野宮476 ミルトクラー1番館102

電話 048-940-3927

ホームページ: <http://www.oriental-toryo.jp>

メールアドレス: oriental@jeans.ocn.ne.jp

取扱店:



2018.04



劣化した瓦を甦らせる一つの方法

オリトシールド

弱溶剤 2液型 素地調整剤 (厚膜タイプ)

乾式コンクリート瓦・薄型化粧スレート・セメント瓦等の著しく劣化した屋根材が **劇的に甦ります。**

® オリエンタル塗料工業株式会社

対象基材

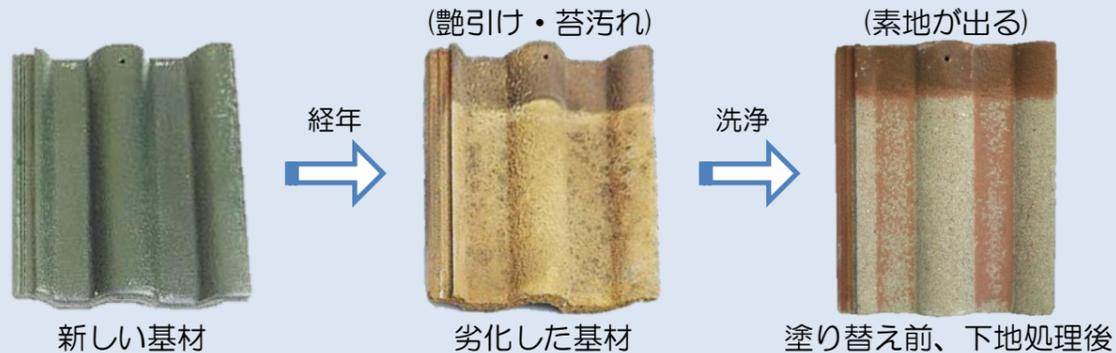
- 乾式コンクリート瓦 (モニエル瓦、スカンジア瓦など)
- 薄型化粧スレート (フルベスト、カラーベスト、コロニアルなど)
- プレスセメント瓦

- * 基材の判別は、カタログ冊子や色見本に記載の、「基材の種類表」などをご確認ください。
- * 塗料で基材の割れやヒビは補修できません。別途、差し替え工事を行ってください。
- * 踏み割れを起こすような、強度の弱くなった基材には、ご使用になれません。
- * 薄型化粧スレートで、表面強度の弱い一部の基材にはご使用になれません。

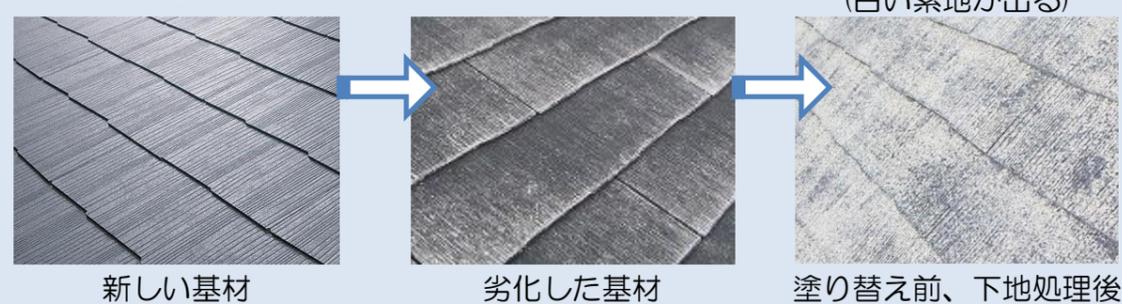
用途

- * 既存塗膜がほとんどなくなる程に劣化した基材(下の写真)を塗り替える際に、素地調整として使用してください。厚膜タイプで、基材表面の凹凸を補正することが出来ます。
- オリトシールドは、洗浄不足を補うものではありません。**
- (仕上げに上塗り塗装が必要です。組み合わせる上塗り塗料は、下記から選択ください。)

<<乾式コンクリート瓦の劣化>>



<<薄型化粧スレートの劣化>>



組み合わせ・上塗り塗料

塗料	種類	用途	入り目	硬化剤比
マイティーシリコン	弱溶剤2液シリコン塗料	乾式コンクリート瓦用	18kg/t	5+1
クールくんマイティーシリコン	弱溶剤2液シリコン塗料 遮熱タイプ		14kg/t	6+1
ニューマイルド優雅	弱溶剤2液シリコン塗料	セメント瓦・スレート用	18kg/t	5+1
クールくんマイルド優雅	弱溶剤2液シリコン塗料 遮熱タイプ		14kg/t	6+1

仕様

混合比 (主剤+硬化剤)	可使用時間
10+1 (重量比)	5時間 (20℃雰囲気下) 高温多湿で短くなります。

* 可使用時間を経過した塗料は、流動性があっても廃棄してください。

ご使用前には主剤缶の天を切り開け、電動の攪拌機でダマのない状態まで攪拌してください。

主剤は、(以下の写真の様に) 固形が分離している場合があります。容器の移し替えや、量り込みをする際、小分けして使用する場合も、開缶しての攪拌が必要です。



開封時：表面が乾燥 ①ヘラで容器と塗料を切り分ける。 ②固形分に切り込みを入れる。 ③機械で攪拌する。

ヘラや混ぜ棒だけでは、十分な攪拌はできません。全体に滑らかなになるまで攪拌してください。塗料が残った場合は、添付のフタでしっかり密閉して保管してください。オリトシールドは湿気反応型です。開缶後はなるべく早く使い切ってください。



攪拌の様子は下記のQRコードからYouTubeでご覧になれます。



工程	材料	希釈	塗装面積
1 下地処理	浮いている旧塗膜、苔やカビをケレン除去する。基材に適した水圧で高圧洗浄し、十分に乾燥させる。		
乾燥間隔	晴天 2~3日		
2 下地剤	オリトシールド	刷毛・ローラー：無希釈 吹き付け(エアレス)：無希釈	45~65㎡ /13.2kgセット
乾燥間隔	24時間以上 (20℃雰囲気下) *A		
3 上塗り	各種 *B	各上塗りのカタログで仕様を確認ください。 刷毛・ローラーの場合は 無希釈 で塗装してください。	
乾燥間隔	3時間以上 (20℃雰囲気下) *A		
4 上塗り	各種 *B	3に同じ	

*A) 曇りの場合や、気温が低い場合は乾燥が遅くなります。

*B) 上塗り塗料は、左ページの「組み合わせ 上塗り塗料」の中よりお選びください。

* 塗装面積を守って塗装してください。(オリトシールドの塗布量は、200~290g/㎡・1回)
下塗り・上塗り共に膜厚が不足すると、性能が発揮されません。オリトシールドの上には、上塗りを必ず2回以上塗装してください。

適合ローラー：厚塗りATUKO 6インチ 18mm (好川産業株式会社)
エアレス仕様：型式 PS 3-23 もしくは、SF 23 (日本ワグナー) *注意事項は別紙参照
チップ口径 0.017~0.019インチ、吹付圧力 1.0~1.2MPa

<< オリトシールド エアレス塗装 >>

☆上塗り（弱溶剤タイプ）に使用する塗装機で、オリトシールドが塗装できます。

タイプ	電動ピストン式エアレス	電動ダイヤフラム式エアレス
推奨機種	PS 3-23 日本ワグナー・スプレーテック(株) 製	SF23 Select 日本ワグナー・スプレーテック(株) 製
設定	中間フィルターは外してください。 (下記写真)	-----

*他メーカー品も、同等機種を選定ください。



ピストン式エアレス機



ダイヤフラム式エアレス機

中間フィルターと、フィルターの取り付け位置

推奨チップ (日本ワグナー)	417 / 517	419 / 519
(精和産業)	1640 / 1650	1840 / 1850
(旭サナック)	16C07 / 16C09	20C07 / 20C09
チップ口径	0.017 インチ (0.43mm)	0.019 インチ (0.48mm)
吹き付け圧力	10~12 MPa	
吐出量の目安 (10.5MPa時)	0.92~1.35 L/min	
ホース	長さ30m、ねじサイズ 1/4インチ (一般呼称 2フ) (内径 φ 約6mm)	
ガン側のフィルター	50メッシュ(より細かいメッシュが取り付けられている場合は、取り外すか、交換してください。)	

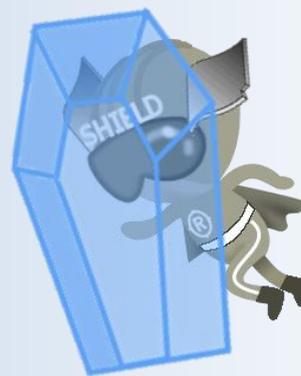
*上記はテストで問題なく塗装できた条件です。使用状況に合わせ、適宜調整してください。

*吹き付け塗装における注意事項などは、裏面をご確認ください。

*オリトシールドの詳細については、製品カタログをご確認ください。

<吹き付け塗装の注意事項>

- * 塗装機は、ORマイルドシンナー（もしくは塗料用Aシンナー）で循環洗浄してから、オリトシールドに使用してください。水やアルコール系のシンナーや残塗料などが混ざると、機械内でゲル化する危険があります。
- * 使用前に塗料の攪拌は確実に行ってください。主剤の攪拌が不足すると、塗料の粘性が適正に低下せず、粘度に偏りが出るため、塗装機が目詰まりが起こる場合があります。
- * 主剤と硬化剤を混合後、数時間が経過すると塗料の粘性が上昇します。粘性が上がると塗装機が目詰まりが起こり、塗装仕上がりが悪くなる場合がありますので、数時間で使い切る適量の調合（既定の混合 重量比 主剤10：硬化剤1）をお願いします。
- * 吹き付け塗装（エアレス）の塗着効率は一般的に40～50%です。更に、強風下での塗装は、塗着効率が低下します。刷毛・ローラー塗装よりも1缶で塗装できる面積が狭くなる場合がありますので、塗装状況に合わせて調整してください。
- * オリトシールドは、無希釈で吹き付け塗装が可能です。混合から数時間後に塗料の粘度が上昇した場合には、ORマイルドシンナーで希釈してください。（3～5%以下）希釈しすぎると垂れやすくなり、膜厚が不足するため仕上がりが悪くなります。
- * 塗装機の使用後は、ORマイルドシンナーもしくは塗料用シンナーで洗浄してください。ラッカーや他のシンナーで洗浄される場合は、予めORマイルドシンナー、もしくは塗料用シンナーで洗浄（残塗料の押し出し）をしてから、洗浄してください。
- * 吹き付け塗装では、塗料が近隣へ飛散する恐れがあります。養生などの飛散防止を行った上で作業してください。



<オリトシールドがゲル化しやすい条件と対策>

- ①材料を直射日光下に置く。（液温の上昇） → 材料は日陰に置いて作業してください。
- ②開缶後、開封状態で長時間放置する。
（空気との接触時間が長いと湿気と反応する） → 使用の都度、フタを閉めてください。
- ③長期保存した材料を使用する。（未開封品） → 製造から半年以内に使用してください。
- ④一度開封した材料を、後日使用する。 → 開封後はできるだけ早く使い切ってください。また、混合直後に増粘した場合は、使用しないでください。